

17 竹取物語①

教科書 P.156～P.170	制限時間 20分	合格点 80点	点
--------------------	-------------	------------	---

動詞の活用形は、未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形(已然形)・命令形の六種類です。

- 未然形は、後に「ない」がつく形。 例)「書かない」、「走らない」、「読まない」 (基本的にア段)
- 連用形は、後に「ます」がつく形。 例)「書きます」、「走ります」、「読みます」 (基本的にイ段)
- 終止形は、後に「。」がつく形。 例)「書く。」、「走る。」、「読む。」 (基本的にウ段)
- 連体形は、後に「とき」がつく形。 例)「書くとき」、「走るとき」、「読むとき」 (基本的にウ段)
- 仮定形(已然形)は、後に「ば」がつく形。 例)「書けば」、「走れば」、「読めば」 (基本的にエ段)
- 命令形は、人に命令する形。 例)「書け」、「走れ」、「読め」 (基本的にエ段)

文末はふつう「終止形」ですが、文末が連体形や已然形になることを、係り結びの法則といいます。

文中に「ぞ・なむ・や・か」がある場合、文末は連体形でウ段になります。

例) さぬきのみやつことなむいひける。(終止形は「けり」だが、「なむ」があるため連体形の「ける」になる。)

文中に「こそ」がある場合、文末は已然形でエ段になります。

例) 月見れば千々にもこそ悲しけれ。(終止形は「悲し」だが、「こそ」があるため已然形の「悲しけれ」になる。)

次の下線部の語を正しい形に変えましょう。(5点×8=40点)

① 雪ぞ降り <u>けり</u> 。	② 雪なむ降り <u>けり</u> 。	③ 雪や降り <u>けり</u> 。	④ 雪こそ降り <u>けり</u> 。
⑤ 雨ぞ降り <u>たり</u> 。	⑥ 雨なむ降り <u>たり</u> 。	⑦ 雨か降り <u>たり</u> 。	⑧ 雨こそ降り <u>たり</u> 。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×12問=60点)

<p>今は昔、竹取の①翁といふ者ありけり。 野山にまじりて竹を取りつつ、②よろづのことに使ひけり。 名をば、さぬきのみやつことなむ③いひける。 その竹の中に、もと光る竹なむ一筋④ありける。 あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。 それを見れば、三寸ばかりなる人、いと⑤うつくしうてあたり。 翁⑥言ふやう、 「我朝ごと夕ごとに見る竹の中に⑦おはするにて知りぬ。 子になりたまふべき人なめり。」 とて、手にうち入れて、家へ持ちて来ぬ。 妻の姫に預けて⑧養はす。 うつくしきこと、かぎりなし。 ⑨いと幼ければ、籠に入れて養ふ。</p>	<p>今は昔のことであるが、竹取の翁という者がいた。 野山に入って竹を取っては、いろいろなことに使った。 名前を、さぬきのみやつこといった。 (ある日)その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。 ⑩ふしぎに思って、寄りて見ると、筒の中が光っている。 それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいい様子で座っている。 翁が言うには、 「私が毎朝毎夕見る竹の中にいらっしゃるので分かった。 子におなりになるはずの人であるようだ。」 と言って、手の内側に入れて、家に持って来た。 妻である老婆に預けて育てさせる。 かわいいこと、この上ない。 とても幼いので、籠に入れて育てる。</p>
---	--

① 線①「翁」の対義語は何ですか。	
② 線②「よろづ」を現代仮名遣いに直しましょう。	
③ 線③「いひける」の活用形を書きましょう。	
④ 線④「ありける」の活用形を書きましょう。	
⑤ 線⑤「うつくしうて」の現代語訳を書きましょう。	
⑥ 線⑥「いふやう」を現代仮名遣いに直しましょう。	
⑦ 線⑦「おはする」の現代語訳を書きましょう。	
⑧ 線⑧「やしなはす」を現代仮名遣いに直しましょう。	
⑨ 線⑨「いと」の現代語訳を書きましょう。	
⑩ 線⑩「ふしぎに思って」を表す古文を書きましょう。	
⑪ 竹取の翁の名前は何ですか。	
⑫ 竹取の翁の生活は裕福ですか。貧しいですか。	

18 竹取物語②

教科書

P.156～P.170

制限時間

20分

合格点

80点

点

竹取物語は、平安時代に作られた、日本で最も古い物語です。全二巻で、のちの多くの本に影響をおよぼしました。人間のみにくい側面、親子の愛情、天上の世界など、さまざまな要素が盛り込まれています。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×20問＝100点)

天人の中に、持たせたる箱あり。
 天の羽衣入れり。
 またあるは、不死の薬入れり。
 一人の天人①言ふ、
 「壺なる御薬②奉れ。きたなき所の物③きこしめしたれば、御心地④あしからむものぞ。」
 とて、持て寄りたれば、⑤いささかなめたまひて、
 少し、⑥形見とて、脱ぎおく衣に⑦包まむとすれば、
 ある天人包ませず。
 御衣を取り出でて、⑧着せむとす。
 そのときに、かぐや姫、「⑨しばし待て。」と言ふ。
 「衣着せつる人は、心異になるなりといふ。
 もの一言、⑩言ひおくべきことありけり。」と言ひて、文書く。
 天人、「⑪遅し。」と、心もとながりたまふ。
 かぐや姫、「⑫もの知らぬこと、⑬なのたまひそ。」とて、
 ⑭いみじく静かに、朝廷に御文⑮奉りたまふ。
 あわてぬさまなり。

天人の中に、持たせている箱がある。
 天の羽衣が⑩入っている。
 また⑪別の、不死の薬が入っている。
 一人の天人が言う、
 「壺にあるお薬をお飲み下さい。きたない所の物をお召し上がりになったので、ご気分が悪いことでしょう。」
 と言って、持って寄ったところ、わずかに⑬おなめになって、
 少し、形見ということで、脱いでおく着物に包もうとすると、
 (そこに)いる天人が包ませない。
 天の羽衣を取り出して、着せようとする。
 そのときに、かぐや姫が、「しばらく待ちなさい。」と言う。
 「羽衣を着せた人は、心が変わってしまうといひます。
 一言、言っておくべきことありました。」と言って、手紙を書く。
 天人は、「遅い。」と、いらいらして⑭いらっしゃる。
 かぐや姫は、「分別のないことを、おっしゃらないで。」と言って、
 たいへん静かに、帝にお手紙をさしあげなさる。
 あわてていない様子である。

①	線①「いふ」を現代仮名遣いに直しましょう。	
②	線②「奉れ」の現代語訳を書きましょう。	
③	線③「きこしめしたれば」の現代語訳を書きましょう。	
④	線④「あしからむものぞ」の現代語訳を書きましょう。	
⑤	線⑤「いささか」の現代語訳を書きましょう。	
⑥	線⑥「形見」として、姫は何を残そうとしましたか。	
⑦	線⑦「つつまむ」を現代仮名遣いに直しましょう。	
⑧	線⑧「きせむ」を現代仮名遣いに直しましょう。	
⑨	線⑨「しばし待て」と姫が言ったのはなぜですか。	()に対して言っておくべきことがあったから。
⑩	線⑩「いひおく」を現代仮名遣いに直しましょう。	
⑪	線⑪「遅し」と天人が言ったのはなぜですか。	
⑫	線⑫「もの知らぬこと」とは、どのようなことですか。	()を押し付けること。
⑬	線⑬「なのたまひそ」の現代語訳を書きましょう。	
⑭	線⑭「いみじく」の現代語訳を書きましょう。	
⑮	線⑮「奉りたまふ」の現代語訳を書きましょう。	
⑯	線⑯「入っている」を表す古文を書きましょう。	
⑰	線⑰「別の」とありますが、別の何ですか。	
⑱	線⑱「おなめになって」を表す古文を書きましょう。	
⑲	線⑲「いらっしゃる」を表す古文を書きましょう。	
⑳	天の羽衣にはどんな力がありましたか。	羽衣を着たものの()を変えてしまう力。

71 論語①	教科書	制限時間	合格点	点
	P.172~P.179	20分	80点	

レ点がある場合、後の一字からすぐ前の一字に返って読みます。
 一ニ点や上下点がある場合、一を読んでから二に、上を読んでから下に返って読みます。
 ㄱ点がある場合、後の一字からすぐ前の一字に返った後に二を読みます。

返り点に従って、読む順番に番号を書きましょう。(4点×7問=28点)

例	2レ	1	7ニ	3	5レ	4	6-	8	①										
②		ニ		レ		一			③		ニ	レ	レ			レ			一
④		下		ニ	レ		一		⑤		下	ニ		一		上	レ		
⑥		下	ニ		ㄱ			上	⑦	レ		下	ニ		ㄱ				上

読む順番に従って、返り点を書きましょう。(4点×8問=32点)

①	1	3	2	4	6	5	8	7	②	2	1	3	6	5	4	7	8
③	1	8	3	2	4	6	5	7	④	3	2	1	6	4	5	8	7
⑤	8	2	1	5	3	4	6	7	⑥	2	1	8	6	4	3	5	7
⑦	1	7	5	2	4-	3	6	8	⑧	7	1	5	2	4-	3	6	8

不、非、無のような否定の語は、書き下し文ではひらがなで書きます。
 漢文にあっても書き下し文で書かない漢字を置き字といい、而、於、矣などがあります。

訓読文を書き下し文に直しましょう。(4点×10問=40点)

①	さい	げつ	ず	ま	タ	ひと	ヲ	②	ふく	すい	ず	かえ	ラ	ぼん	ニ					
	歳	月	不レ	待レ		人			覆	水	不レ	返レ		盆						
③	はく	らく	ハ	ず	つね	ニハ	あ	ラ	④	みず	きよ	ケバ	な	シ	たい	ぎよ				
	伯	楽	不ニ	常		有	一			水	清	無ニ	大		魚	一				
⑤	ひと	な	シ	ざ	ル	いん	しよく	セ	⑥	まな	ビテ	※	とき	ニ	なら	フ	これ	ヲ		
	人	無レ	不ニ	飲		食	一			学	而		時		習レ		之			
⑦	たず	ネ	ふる	キ	※	し	ル	あた	シキ	⑧	そ	ノ	けん	お	ツ	※	於	みづ	ニ	
	温	レ	故		而	知	レ	新			其		劍	墮		於		水		
⑨	あお	ハ	と	ル	これ	ヲ	※	あお	ヨ	⑩	あい	ス	おな	ジキ	※	於	おの	ニ	もの	ヲ
	青		取	ニ	之		於	藍	一		愛	下	同	ニ	於	己	一	者	上	

72 論語②

教科書	制限時間	合格点	点
P.172~P.179	20分	80点	

論語は、思想家の孔子とその弟子たちの言葉や行いを記録した書物で、全20巻に512編の短文が収められています。孔子は、仁義や礼を重んじ、その思想を世に広めることに生涯を捧げました。285年頃、論語は百済の博士によって日本に伝えられ、今日まで読みつがれています。

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×5問=25点)

君 子 和 而 不 同 。 小 人 同 而 不 和 。

君子は人と調和するが、何にでも賛成はしない。小人は何にでも賛成するが、人と調和はしない。

- ① 訓読文を書き下し文に直しましょう。
- ② 君子とはどのような人か、選んで○で囲みましょう。 大人 背の高い人 人格が高い人 気が強い人
- ③ 小人とはどのような人か、選んで○で囲みましょう。 子供 背の低い人 人格が低い人 気が弱い人
- ④ 「和」はどのような意味ですか。
- ⑤ 「同」はどのような意味ですか。

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×5問=25点)

子 曰 、 過 而 不 改 、 是 謂 過 矣 。

先生が言われた、「過ちを改めない、これを過ちというのだ。」と。

- ① 訓読文を書き下し文に直しましょう。
- ② 置き字を二字抜き出して書きましょう。
- ③ 「曰はく」を現代仮名遣いに直しましょう。
- ④ 「子」は誰を指していますか。
- ⑤ 「是」は何を指していますか。

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×5問=25点)

己 所 不 欲 、 勿 施 於 人 。

自分が望まないことは、人にしてはならない

- ① 訓読文を書き下し文に直しましょう。
- ② 置き字を一字抜き出して書きましょう。
- ③ この漢文が書かれているのは、何という書物ですか。
- ④ この書物は全何巻からなりますか。
- ⑤ この書物が日本に伝わったのは何年頃ですか。

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×5問=25点)

学 而 不 思 則 罔 。 思 而 不 学 則 殆 。

学んでも考えないことは、つまり道理が分からないということだ。考えても学ばないということは、つまり危険ということだ。

- ① 訓読文を書き下し文に直しましょう。
- ② 置き字を一字抜き出して書きましょう。
- ③ 「則ち」を現代仮名遣いに直しましょう。
- ④ 「殆し」を現代仮名遣いに直しましょう。
- ⑤ 「罔し」とはどのような意味ですか。

17 竹取物語①

教科書

P.156～P.170

制限時間

20分

合格点

80点

点

動詞の活用形は、未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形(已然形)・命令形の六種類です。

未然形は、後に「ない」がつく形。 例)「書かない」、「走らない」、「読まない」 (基本的にア段)

連用形は、後に「ます」がつく形。 例)「書きます」、「走ります」、「読みます」 (基本的にイ段)

終止形は、後に「。」がつく形。 例)「書く。」、「走る。」、「読む。」 (基本的にウ段)

連体形は、後に「とき」がつく形。 例)「書くとき」、「走るとき」、「読むとき」 (基本的にウ段)

仮定形(已然形)は、後に「ば」がつく形。 例)「書けば」、「走れば」、「読めば」 (基本的にエ段)

命令形は、人に命令する形。 例)「書け」、「走れ」、「読め」 (基本的にエ段)

文末はふつう「終止形」ですが、文末が連体形や已然形になることを、係り結びの法則といいます。

文中に「ぞ・なむ・や・か」がある場合、文末は連体形でウ段になります。

例) さぬきのみやつことなむいひける。(終止形は「けり」だが、「なむ」があるため連体形の「ける」になる。)

文中に「こそ」がある場合、文末は已然形でエ段になります。

例) 月見れば千々にもこそ悲しけれ。(終止形は「悲し」だが、「こそ」があるため已然形の「悲しけれ」になる。)

次の下線部の語を正しい形に変えましょう。(5点×8=40点)

① 雪ぞ降り <u>けり</u> 。	ける	② 雪なむ降り <u>けり</u> 。	ける	③ 雪や降り <u>けり</u> 。	ける	④ 雪こそ降り <u>けり</u> 。	けれ
⑤ 雨ぞ降り <u>たり</u> 。	たる	⑥ 雨なむ降り <u>たり</u> 。	たる	⑦ 雨か降り <u>たり</u> 。	たる	⑧ 雨こそ降り <u>たり</u> 。	たれ

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×12問=60点)

<p>今は昔、竹取の①翁といふ者ありけり。 野山にまじりて竹を取りつつ、②よろづのことに使ひけり。 名をば、さぬきのみやつことなむ③いひける。 その竹の中に、もと光る竹なむ一筋④ありける。 あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。 それを見れば、三寸ばかりなる人、いと⑤うつくしうてあたり。 翁⑥言ふやう、 「我朝ごと夕ごとに見る竹の中に⑦おはするにて知りぬ。 子になりたまふべき人なめり。」 とて、手にうち入れて、家へ持ちて来ぬ。 妻の姫に預けて⑧養はす。 うつくしきこと、かぎりなし。 ⑨いと幼ければ、籠に入れて養ふ。</p>	<p>今は昔のことであるが、竹取の翁という者がいた。 野山に入って竹を取っては、いろいろなことに使った。 名前を、さぬきのみやつこといった。 (ある日)その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。 ⑩ふしぎに思って、寄りて見ると、筒の中が光っている。 それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいい様子で座っている。 翁が言うには、 「私が毎朝毎夕見る竹の中にいらっしゃるので分かった。 子におなりになるはずの人であるようだ。」 と言って、手の内側に入れて、家に持って来た。 妻である老婆に預けて育てさせる。 かわいいこと、この上ない。 とても幼いので、籠に入れて育てる。</p>
---	--

① 線①「翁」の対義語は何ですか。	おんな 姫
② 線②「よろづ」を現代仮名遣いに直しましょう。	よろず
③ 線③「いひける」の活用形を書きましょう。	連体形
④ 線④「ありける」の活用形を書きましょう。	連体形
⑤ 線⑤「うつくしうて」の現代語訳を書きましょう。	かわいい様子で
⑥ 線⑥「いふやう」を現代仮名遣いに直しましょう。	いうよう
⑦ 線⑦「おはする」の現代語訳を書きましょう。	いらっしゃる
⑧ 線⑧「やしなはす」を現代仮名遣いに直しましょう。	やしなわす
⑨ 線⑨「いと」の現代語訳を書きましょう。	とても
⑩ 線⑩「ふしぎに思って」を表す古文を書きましょう。	あやしがりて
⑪ 竹取の翁の名前は何か。	さぬきのみやつこ
⑫ 竹取の翁の生活は裕福ですか。貧しいですか。	貧しい (野山に入って竹を取る生活)

18 竹取物語②

教科書

P.156~P.170

制限時間

20分

合格点

80点

点

竹取物語は、平安時代に作られた、日本で最も古い物語です。全二巻で、のちの多くの本に影響をおよぼしました。人間のみにくい側面、親子の愛情、天上の世界など、さまざまな要素が盛り込まれています。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×20問=100点)

天人の中に、持たせたる箱あり。
 天の羽衣入れり。
 またあるは、不死の薬入れり。
 一人の天人①言ふ、
 「壺なる御薬②奉れ。きたなき所の物③きこしめしたれば、御心地④あしからむものぞ。」
 とて、持て寄りたれば、⑤いささかなめたまひて、
 少し、⑥形見とて、脱ぎおく衣に⑦包まむとすれば、
 ある天人包ませず。
 御衣を取り出でて、⑧着せむとす。
 そのときに、かぐや姫、「⑨しばし待て。」と言ふ。
 「衣着せつる人は、心異になるなりといふ。
 もの一言、⑩言ひおくべきことありけり。」と言ひて、文書く。
 天人、「⑪遅し。」と、心もとながりたまふ。
 かぐや姫、「⑫もの知らぬこと、⑬なのたまひそ。」とて、
 ⑭いみじく静かに、朝廷に御文⑮奉りたまふ。
 あわてぬさまなり。

天人の中に、持たせている箱がある。
 天の羽衣が⑩入っている。
 また⑪別の、不死の薬が入っている。
 一人の天人が言う、
 「壺にあるお薬をお飲み下さい。きたない所の物をお召し上がりになったので、ご気分が悪いことでしょう。」
 と言って、持って寄ったところ、わずかに⑬おなめになって、
 少し、形見ということで、脱いでおく着物に包もうとすると、
 (そこに)いる天人が包ませない。
 天の羽衣を取り出して、着せようとする。
 そのときに、かぐや姫が、「しばらく待ちなさい。」と言う。
 「羽衣を着せた人は、心が変わってしまうといひます。
 一言、言っておくべきことありました。」と言って、手紙を書く。
 天人は、「遅い。」と、いらいらして⑭いらっしゃる。
 かぐや姫は、「分別のないことを、おっしゃらないで。」と言って、
 たいへん静かに、帝にお手紙をさしあげなされる。
 あわてていない様子である。

- | | | |
|---|---------------------------|-----------------------------|
| ① | 線①「いふ」を現代仮名遣いに直しましょう。 | いう |
| ② | 線②「奉れ」の現代語訳を書きましょう。 | お飲み下さい |
| ③ | 線③「きこしめしたれば」の現代語訳を書きましょう。 | お召し上がりになったので |
| ④ | 線④「あしからむものぞ」の現代語訳を書きましょう。 | 悪いことでしょう |
| ⑤ | 線⑤「いささか」の現代語訳を書きましょう。 | わずかに |
| ⑥ | 線⑥「形見」として、姫は何を残そうとしましたか。 | 薬 |
| ⑦ | 線⑦「つつまむ」を現代仮名遣いに直しましょう。 | つつまん |
| ⑧ | 線⑧「きせむ」を現代仮名遣いに直しましょう。 | きせん |
| ⑨ | 線⑨「しばし待て」と姫が言ったのはなぜですか。 | (帝)に対して言っておくべきことがあったから。 |
| ⑩ | 線⑩「いひおく」を現代仮名遣いに直しましょう。 | いいおく |
| ⑪ | 線⑪「遅し」と天人が言ったのはなぜですか。 | 姫を早く連れて行きたいのに、姫が手紙を書き始めたから。 |
| ⑫ | 線⑫「もの知らぬこと」とは、どのようなことですか。 | (自分の都合)を押し付けること。 |
| ⑬ | 線⑬「なのたまひそ」の現代語訳を書きましょう。 | おっしゃらないで |
| ⑭ | 線⑭「いみじく」の現代語訳を書きましょう。 | たいへん |
| ⑮ | 線⑮「奉りたまふ」の現代語訳を書きましょう。 | さしあげなされる |
| ⑯ | 線⑯「入っている」を表す古文を書きましょう。 | 入れり |
| ⑰ | 線⑰「別の」とありますが、別の何ですか。 | 別の箱 |
| ⑱ | 線⑱「おなめになって」を表す古文を書きましょう。 | なめたまひて |
| ⑲ | 線⑲「いらっしゃる」を表す古文を書きましょう。 | たまふ |
| ⑳ | 天の羽衣にはどんな力がありましたか。 | 羽衣を着たものの(心)を変えてしまう力。 |

71 論語①

教科書 P.172~P.179	制限時間 20分	合格点 80点	点
--------------------	-------------	------------	---

レ点がある場合、後の一字からすぐ前の一字に返って読みます。
 一ニ点や上下点がある場合、一を読んでから二に、上を読んでから下に返って読みます。
 ㄱ点がある場合、後の一字からすぐ前の一字に返った後に二を読みます。

返り点に従って、読む順番に番号を書きましょう。(4点×7問=28点)

例	2レ 1 7ニ 3 5レ 4 6ー 8	①	1 3レ 2 4 7レ 6レ 5 8
②	5ニ 1 3レ 2 4ー 6 8レ 7	③	1 8ニ 4レ 3レ 2 6レ 5 7ー
④	8下 1 5ニ 3レ 2 4ー 6 7上	⑤	1 6下 4ニ 2 3ー 5上 8レ 7
⑥	6下 4ニ 1 3ㄱ 2 5上 8レ 7	⑦	2レ 1 8下 6ニ 3 5ㄱ 4 7上

読む順番に従って、返り点を書きましょう。(4点×8問=32点)

①	1 3レ 2 4 6レ 5 8レ 7	②	2レ 1 3 6レ 5レ 4 7 8
③	1 8ニ 3レ 2 4 6レ 5 7ー	④	3レ 2レ 1 6ニ 4 5ー 8レ 7
⑤	8下 2レ 1 5ニ 3 4ー 6 7上	⑥	2レ 1 8下 6ニ 4レ 3 5ー 7上
⑦	1 7下 5ニ 2 4ㄱ 3 6上 8	⑧	7下 1 5ニ 2 4ㄱ 3 6上 8

不、非、無のような否定の語は、書き下し文ではひらがなで書きます。
 漢文にあっても書き下し文で書かない漢字を置き字といい、而、於、矣などがあります。

訓読文を書き下し文に直しましょう。(4点×10問=40点)

①	さい げつ ず ま タ ヒト ヲ 歳 月 不レ 待レ 人 さいげつひとま 歲月人を待たず。	②	ふく すい ず かえ ラ ぼん ニ 覆 水 不レ 返レ 盆 ふくすいぼんかえ 覆水盆に返らず。
③	はく らく ハ ず つね ニハ あ ラ 伯 楽 不ニ 常 有 一 はくらくつね 伯楽は常には有らず。	④	みず きよ ケバ な シ たい ぎよ 水 清 無ニ 大 魚 一 みずきよ 水清ければ大魚なし。
⑤	ひと な シ ぎ ル いん しょく セ 人 無レ 不ニ 飲 食 一 ひといんしょく 人飲食せざるし。	⑥	まな ビテ ※ とき ニ なら フ これ フ 学 而 時 習レ 之 まな ビテ とき これ なら 学びて時に之を習ふ。
⑦	たず ね ふる キヲ ※ し ル あたら シキヲ 温レ 故 而 知レ 新 ふる たず あたら し 故きを温ねて新しきを知る。	⑧	そ ノ けん お ツ ※ 於 みづ ニ 其 剣 墮 於 水 そ けんみづ お 其の剣水に墮つ。
⑨	あお ハ と ル これ ヲ ※ あお 瑯 一 青 取ニ 之 於 藍 一 あお これ あお 青は之を藍より取る。	⑩	あい ス おな ジキ ※ おのれ ニ もの フ 愛 下 同ニ 於 己 一 者 上 おのれ おな もの あい 己に同じき者を愛す。

72 論語②

教科書	制限時間	合格点	点
P.172~P.179	20分	80点	

論語は、思想家の孔子とその弟子たちの言葉や行いを記録した書物で、全 20 巻に 512編の短文が収められています。孔子は、仁義や礼を重んじ、その思想を世に広めることに生涯を捧げました。285 年頃、論語は百済の博士によって日本に伝えられ、今日まで読みつがれています。

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点 × 5 問 = 25 点)

君 子 和 而 不 同 。 小 人 同 而 不 和 。	
君子は人と調和するが、何にでも賛成はしない。小人は何にでも賛成するが、人と調和はしない。	
① 訓読文を書き下し文に直しましょう。	君子は和して同せず。小人は同じで和せず。
② 君子とはどのような人か、選んで○で囲みましょう。	大人 背の高い人 人格が高い人 気が強い人
③ 小人とはどのような人か、選んで○で囲みましょう。	子供 背の低い人 人格が低い人 気が弱い人
④ 「和」はどのような意味ですか。	人と調和する
⑤ 「同」はどのような意味ですか。	何にでも賛成する

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点 × 5 問 = 25 点)

子 曰 、 過 而 不 改 、 是 謂 過 矣 。	
先生が言われた、「過ちを改めない、これを過ちというのだ。」と。	
① 訓読文を書き下し文に直しましょう。	子曰はく、「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。」
② 置き字を二字抜き出して書きましょう。	而、矣
③ 「曰はく」を現代仮名遣いに直しましょう。	いわく
④ 「子」は誰を指していますか。	孔子
⑤ 「是」は何を指していますか。	過ちを改めないこと。

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点 × 5 問 = 25 点)

己 所 不 欲 、 勿 施 於 人 。	
自分が望まないことは、人にしてはならない	
① 訓読文を書き下し文に直しましょう。	己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ。
② 置き字を一字抜き出して書きましょう。	於
③ この漢文が書かれているのは、何という書物ですか。	論語
④ この書物は全何巻からなりますか。	全 20 巻
⑤ この書物が日本に伝わったのは何年頃ですか。	285 年頃

次の漢文を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点 × 5 問 = 25 点)

学 而 不 思 則 罔 。 思 而 不 学 則 殆 。	
学んでも考えないことは、つまり道理が分からないということだ。考えても学ばないということは、つまり危険ということだ。	
① 訓読文を書き下し文に直しましょう。	学びて思はざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し。
② 置き字を一字抜き出して書きましょう。	而
③ 「則ち」を現代仮名遣いに直しましょう。	すなわち
④ 「殆し」を現代仮名遣いに直しましょう。	あやし
⑤ 「罔し」とはどのような意味ですか。	道理が分からない